

2023年度 学校評価の分析

2024年1月24日（水）西会津高等学校

1 アンケートの実施について

- ・対象数 91名（教職員、生徒、保護者）
- ・回収数 86名（回収率94.5%）
- ・実施方法 Microsoft Formsによるタブレット端末等での回答

2 アンケートの結果について

(1) 本校に対する全体的な満足度（項目14）

- 生徒、保護者において、肯定的な回答（A及びBの回答の合計。以下同じ。）が90%を超える。

「西高PC」を目標とした教育活動の実践及び地域と連携した教育活動の充実、外部講師活用機会の増加がよい影響を与えていると思われる。

(2) 学習指導についての評価（項目1～4）

- 授業の実施及び難易度について、生徒、保護者、教職員とも回答の割合が近い。しかし、資格取得のための指導の受講（項目4）について、生徒、保護者の回答と教職員の回答に差が見られる。

授業の難易度や生徒の実態は前年度と大きな変化がないことから、少人数の環境下での丁寧な指導や授業の工夫の成果と考えられる。

資格取得のための指導の受講については、指導を受けている生徒が全生徒ではないことと保護者への周知が不足していることが理由と考えられる。

(3) 生徒指導、委員会活動・部活動についての評価（項目5～7）

- ほとんどの項目において肯定的な回答は昨年度と同程度である。委員会・部活動への積極的な取組み（項目7）について、生徒、保護者、教職員ともに肯定的な回答が増えている。

生徒は落ち着いた学校生活及び課外活動を送っていることの評価と考えられる。

(4) 相談体制、進路指導についての評価（項目8～11）

- ほとんどの項目において肯定的な回答は昨年度と同程度である。

進路指導に対する評価は、肯定的な回答が昨年度同様の高い割合であった。

(5) 地域連携についての評価（項目 12、13）

- 地域連携（項目 12）の肯定的な回答は昨年度と同程度であるが、情報発信（項目 13）は、生徒、保護者ともに肯定的な回答が 80%は超えているものの昨年度より減っている。

授業や各行事での地域と連携した取組みを、教員だけでなく生徒及び保護者も実感し肯定的に捉えている。

教育活動の取組みのPRや、より効果的な情報発信が求められる。

3 学校全体としての成果と課題

(1) 成果

- ① 「西高 PC」を目標とした教育活動実践と評価のサイクルが浸透した。
- ② 学習に関する項目や地域連携に関する項目など教育活動の中心となる項目での評価が高く、本校生徒は満足した学校生活を送っている。
※12月実施の授業評価アンケート結果でも8割から9割の生徒が授業について支持し、概ね生徒は授業に及第点をつけている結果となっている。
- ③ ICTを使用してのアンケート回収であった。保護者についても、実施方法について十分理解してもらえた。

(2) 課題

- ① 地域との連携をとおして、授業や学校行事の変化と活動の充実を図るとともに「西高 PC」にある7つの力の育成につなげていく必要がある。
- ② 生徒が自己の進路について高い志を持ち、資格取得のための指導や、課外・個別指導の希望が増加するための校内の体制づくりや生徒への働きかけが必要である。
- ③ 学校の様々な取組みについて、より効果的な情報発信が求められる。